

第 2 学年 道徳学習指導案

1 主題名 きまりの意義の理解と規律ある社会の実現

2 内容項目 4－（１）法の遵守
〈 関連項目：2－（２）思いやる心 〉

3 資料名 「二通の手紙」（私たちの道徳）

4 ねらい（視点）

（１）指導内容について

主人公の元さんは、動物園の規則を知っていながら、幼い姉弟の思いに同情し、入園を許してしまう。元さんの行為は、母親からは感謝されることになったが、規則を破って入場させたことから大騒ぎとなり、その結果、懲戒処分を受けることとなった。姉弟の母から届いた感謝の手紙と動物園側から届いた懲戒処分の通告書。元さんが手にした「二通の手紙」は、社会における人間としての生き方について考える機会を与えてくれる。

本資料は、心の葛藤を引き起こす内容であり、社会における法やきまりの意義について深く考えることのできる資料である。また「考える道徳」「議論する道徳」ということが言われているが、そのような授業展開がしやすい資料である。元さんの思いについて話し合ったり、元さんの判断を巡る道徳的な葛藤について話し合ったりして、社会における法やきまりの意義やそれを遵守することの大切さについて考えさせるようにしたい。

（２）資料について

きまりを破って幼い姉弟を入園させた「元さん」の心情は、生徒にとっては想像しやすいものであり、物語の導入部分から、資料の世界に引き込まれる生徒が多いと思われる。

「きまりを破ってもいい」という意見が出ることも予想されるが、あくまでも「きまりは守るもの」ということを基本に据えながらの授業展開を心がけたい。「きまりを破った罰として自ら職を辞した」という、「元さん」の晴れ晴れとした気持ちを、どの程度実感させることができるかが重要になってくると思われる。

（３）本時のねらい

法やきまりの意義を理解し、秩序と規律のある社会を実現しようとする態度を育てる。

5 本時の展開

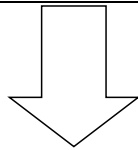
時	主な学習内容・活動	評価・留意点
導入	【1 きまりの意義と葛藤する場面を思い起こさせる】 ○きまりを破っても仕方ないと思うのはどんなときだろう。 ・ベル席に間に合わせるために廊下を走ってしまう。 ・学校帰りにどうしてもトイレに行きたくてコンビニに寄り道する。 ・落ちていた小銭を交番に届けずに自分のものにする。	・自分の体験に限定しないことで、多様な発言を促すようにする。

展 開	<p>【資料を読む①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が範読する。(最初から P143 まで) <p>【2 元さんの判断について考える】</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>規則違反と知りながら姉弟を入園させた元さんの判断に賛成か、反対か。</p> </div> <p>【賛成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉弟の様子を見たら、ダメとは言えない。 ・姉弟の気持ちを考えたら、同情する。 ・ほんの数分なら、問題は少ない。 ・姉弟はどうしてもその日その時間しか来られなかったのだから仕方ない。 <p>【反対】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違反は違反なので、良くない。 ・一度違反を認めると、他の人にも認めなくてはいけなくなる。 ・事故があってから後悔しても遅い。 <p>※数人から意見を聞いたら、賛成・反対について挙手させる。</p> <p>【3 きまりを守る意義について、さらに考える】</p> <p>○この動物園の「入園時間を過ぎたら入園させない」「保護者同伴でない子どもは入園させない」というきまりは、なぜ作られたと思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉園時間を守るため ・子どもの安全のため <p>○弟の誕生日と聞いた元さんはどんな思いで入園させたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの境遇に同情した。 ・動物を見せてやりたい。 <p>【問い返し】 この判断は本当に姉弟のためになるのか？</p> <p>【資料を読む②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が範読する。(P144 から最後まで) <p>【4 元さんの判断について改めて考える】</p> <p>※改めて、元さんの判断について、賛成か反対かとその理由を3～4人グループで交流・話し合い活動をする。(約4分)</p> <p>※話し合い活動の後さらに何人かに発表させ、最後に立場を挙手させる。</p> <p>○元さんの同僚なら、姉弟を入園させようとした元さんに、どのような言葉をかけただろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則は規則だから、入園させない方がいいよ。 ・絶対に事故が起きないように、一緒にまわってあげなさい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に音読させない。 ・ワークシートに自分の意見と、そのように考えた理由を記入させる。 ・立場はあとで変わって良いことを伝え、今のところの考えで記入させる。 ・この段階での賛成と反対の数を明らかにしておく。 ・葛藤を生む問い返しにより、より深く考えさせる。 ・生徒に音読させない。 ・話し合い活動では、他人の意見を否定しない、グループの意見をまとめない。また、授業者も話し合いに加わるようにする。
	終 末	<p>【5 気づいたことや考えたことをワークシートに書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の感想や学んだことを記入する。

2年組 番氏名 _____

1. 規則違反と知りながら姉弟を入園させた元さんの判断に…

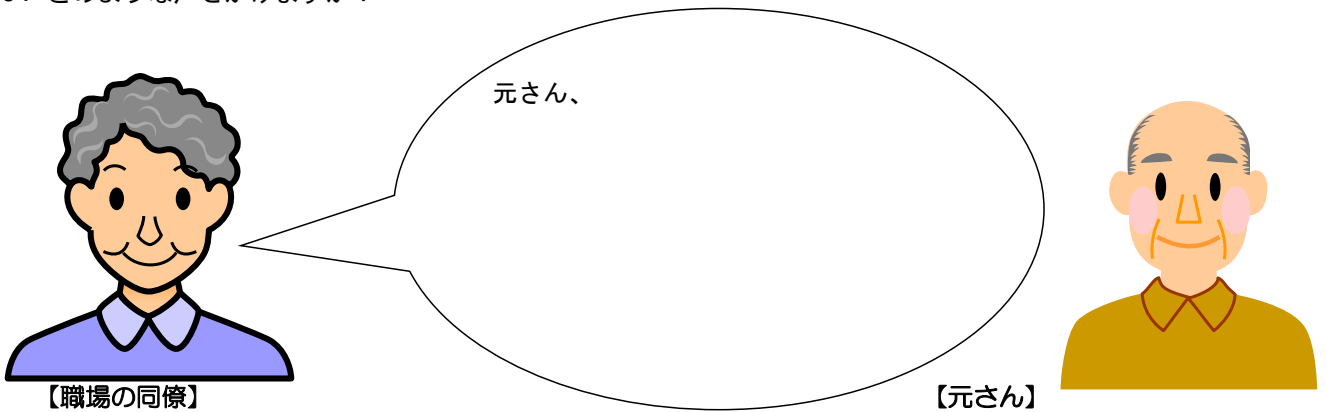
	賛成 ・ 反対 ←どちらかに○
理由	



2. 規則違反と知りながら姉弟を入園させた元さんの判断に…

	賛成 ・ 反対 ←どちらかに○
理由	

3. どのような声をかけますか？



4. 今日の授業で学んだことや考えたことを書いてみましょう。
